

「一瞬の風になれ」を読んで

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

ひさびさに(3巻構成の本ですが)一気に読みました。
トイレで中断されるのも嫌で持っていました。読後は
永遠に続編があれば良いと思いました。



代表取締役社長 吉田治伸

標題の本「一瞬の風になれ」(講談社・佐藤多佳子)の感想です。「本」は私の人生にとって重要な位置づけにあります。人間の成長は「経験」と「想像力」にあると思っています。全部「経験」できるわけではないので「本」や「話」や「映画」という疑似体験が「成長」や「気づき」の重要な要素であるのではないかと考えています。毎月、大量の本を購入しますが、最後まで読める本は多くありません。途中で他事をしたくなってしまうのであります。そんな状況下この本は面白かった。単純な青春陸上小説であります。しかし、TV等で先生に乱暴な言葉遣いをする学園ドラマに辟易としている私には大変うれしい内容でした。そして、学生時代を思い出しました。ただ「勝ちたい」、「強くなりたい」と練習に励んでいた毎日はずらいものではなく、出るであろう結果に胸膨らませた希望の日々でありました。皆で目標に向かって努力した時間は今思い出しても貴重な体験でありました。

いつからでしょう。「仕事」が楽しくなくなったのは。「仕事」がお金を貰うための「手段」になってしまったのは。

あらためて思います。「仕事」は「楽しく」。

「楽しく」するためには、

- ・ 目標に対する期待感。
- ・ 仲間に対する友情。
- ・ 達成に対する一体感。

そんな事をもう一度考えてみたらどうでしょうか。